



## I 全日制高校について

		A.外国人生徒	B.中国・サハラ以南の帰国生徒	C.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		一般学力検査の特例措置	一般学力検査の特例措置	一般学力検査の特例措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女以外の帰国生徒で、現地に引き続き3年以上在学し、かつ、原則として、令和4年1月1日以降に帰国した者
2-3.措置の内容		・学力検査時間の延長(国語25分、他の教科は15分) ・学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意する	・学力検査時間の延長(国語25分、他の教科は15分) ・学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意する	・学力検査時間の延長(国語25分、他の教科は15分) ・学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意する
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学枠の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		特別学力検査	特別学力検査	特別学力検査
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女以外の帰国生徒で、現地に引き続き3年以上在学し、かつ、原則として、令和4年1月1日以降に帰国した者
3-3.入学枠のある学校数/全学校数		19校/全校90校	19校/全校90校	19校/全校90校
3-4.学校名		青豊高等学校、小倉南高等学校、小倉商業高等学校、北筑高等学校、玄界高等学校、香住丘高等学校、太宰府高等学校、福岡農業高等学校、福岡工業高等学校、福岡講倫館高等学校、早良高等学校、朝倉東高等学校、久留米高等学校、福島高等学校、伝習館高等学校、ありあけ新世高等学校、東鷹高等学校、嘉穂東高等学校、直方高等学校	青豊高等学校、小倉南高等学校、小倉商業高等学校、北筑高等学校、玄界高等学校、香住丘高等学校、太宰府高等学校、福岡農業高等学校、福岡工業高等学校、福岡講倫館高等学校、早良高等学校、朝倉東高等学校、久留米高等学校、福島高等学校、伝習館高等学校、ありあけ新世高等学校、東鷹高等学校、嘉穂東高等学校、直方高等学校	青豊高等学校、小倉南高等学校、小倉商業高等学校、北筑高等学校、玄界高等学校、香住丘高等学校、太宰府高等学校、福岡農業高等学校、福岡工業高等学校、福岡講倫館高等学校、早良高等学校、朝倉東高等学校、久留米高等学校、福島高等学校、伝習館高等学校、ありあけ新世高等学校、東鷹高等学校、嘉穂東高等学校、直方高等学校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	各校の定員内	各校の定員内	各校の定員内
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		・国語、数学、外国語(英語)の特別の学力検査 ・作文及び面接	・国語、数学、外国語(英語)の特別の学力検査 ・作文及び面接	・国語、数学、外国語(英語)の特別の学力検査 ・作文及び面接
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

## II 定時制高校について

		D.外国人生徒	E.中国・サハラ以南の帰国生徒	F.海外帰国生徒
1.2022年度中について、当該項目の生徒の在籍の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
2-1.2023年度の一般入試において、当該項目の生徒の受けられる入試特別措置の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質受けられる、等)の場合は「2-1の備考」に明記		○	○	○
2-1の名称		一般学力検査の特例措置	一般学力検査の特例措置	一般学力検査の特例措置
2-1の備考 2-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
2-2.滞日年数制限		中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女以外の帰国生徒で、現地に引き続き3年以上在学し、かつ、原則として、令和4年1月1日以降に帰国した者
2-3.措置の内容		・学力検査時間の延長(国語25分、他の教科は15分) ・学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意する	・学力検査時間の延長(国語25分、他の教科は15分) ・学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意する	・学力検査時間の延長(国語25分、他の教科は15分) ・学力検査問題の一部について、別に漢字振り仮名表を用意する
2-4.2022年度の入試において、当該の措置で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
3-1.2023年度の入試において、当該項目の生徒を対象とした特別入学者の有無 ※○△×から1つ選択 △(要項に明記されていないが実質対象となる、等)の場合は「3-1の備考」に明記		○	○	○
3-1の名称		特別学力検査	特別学力検査	特別学力検査
3-1の備考 3-1が△の場合は明記 国籍要件に条件がある場合は明記				
3-2.滞日年数制限		中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女又は外国人生徒等で、原則として、帰国若しくは入国後小学校4年以上の学年に編入学した者、又は帰国若しくは入国時に既に学齢を超過して我が国の小・中学校に編入学できなかった者で、平成28年1月1日以降に帰国若しくは入国した者	中国等帰国孤児子女以外の帰国生徒で、現地に引き続き3年以上在学し、かつ、原則として、令和4年1月1日以降に帰国した者
3-3.入学者のある学校数/全学校数		4校/全校20校	4校/全校20校	4校/全校20校
3-4.学校名		小倉南高等学校、福岡工業高等学校、福島高等学校、嘉穂東高等学校	小倉南高等学校、福岡工業高等学校、福島高等学校、嘉穂東高等学校	小倉南高等学校、福岡工業高等学校、福島高等学校、嘉穂東高等学校
3-5.定員 ※該当する方のみ記入	①定員内(枠内)	各校の定員内	各校の定員内	各校の定員内
	②定員外(枠外)			
3-6.特別枠の定員数は明確となっており、かつその数まで合格を認めているか (定員数内で不合格を出さない内規等があるか) ※○×から1つ選択		×	×	×
3-7.試験内容		・国語、数学、外国語(英語)の特別の学力検査 ・作文及び面接	・国語、数学、外国語(英語)の特別の学力検査 ・作文及び面接	・国語、数学、外国語(英語)の特別の学力検査 ・作文及び面接
3-8.2022年度の入試において、当該の枠で、日本語指導が必要な生徒が受験(受験)しているか ※有・無・把握せずから1つ選択		把握せず	把握せず	把握せず
その他補足事項 ※措置や枠がある地域については、2022年度の入試別の受験者数・合格者数、その他事項などを記入				

## Ⅲ 高校入学後の状況

1.日本語指導が必要な生徒に対して、入学後の日本語や教科の支援(補習等)にかかわる当該自治体の施策の有無 ※有・無から1つ選択	有	
2.有の場合、その施策の具体的な内容 ※該当する項目にチェック	<input type="checkbox"/>	A.教育課程に位置づけられた日本語授業(学校設定科目や個別対応授業など単位として認定されるもの)の実施
	<input type="checkbox"/>	B.教科学習において個別対応や習熟度別の授業を実施
	<input type="checkbox"/>	C.母語(継承語)保持のための授業の実施
	<input checked="" type="checkbox"/>	D.担当教員の加配
	<input type="checkbox"/>	E.日本語の授業などの講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	F.母語(継承語)の支援のための講師や支援者の雇用
	<input type="checkbox"/>	G.その他外部支援者(コーディネーターなど)の雇用
	<input type="checkbox"/>	H.日本語指導が必要な生徒を対象としたキャリア教育(出口支援)
	その他の 施策	
上記に該当 する実施校 の校数等		
補足事項		
3.自治体の施策ではないが、各学校で個別に実施していることがあれば記入	把握していないが、各学校で適宜対応していると思われる。	
4.2022年度の入試において、海外で中学相当(学校教育における9年の課程)を修了し、来日後直接高校受検(受験)した者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合はその人数も記入	把握せず	
5.2021年度中に、直接来日後による編入学者の有無 ※有・無・把握せずから1つ選択、有りの場合は、その人数も記入	把握せず	

IV日本国内にある外国学校からの入学について		
	↓記入欄	備考
1-1.各種学校の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	<p>志願資格は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校(義務教育学校及び特別支援学校中学部を含む。)を卒業した者又は卒業見込みの者</li> <li>・中等教育学校の前期課程を修了した者又は修了見込みの者</li> <li>・就学義務猶予免除者等で中学校卒業程度認定試験に全科目合格した者</li> <li>・外国において学校教育における9年の課程を修了した者又は修了見込みの者</li> <li>・青年学校本科第1学年以上を修了した者など、文部科学大臣の指定した者</li> <li>・文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は修了見込みの者</li> <li>・その他、当該高等学校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者及び認定を受けようとする者等</li> </ul>
1-2. 1-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
2-1.各種学校ではないが、本国政府の認可を得た外国学校の中等部の卒業生について、高校受験(受検)者資格を認めているか否か ただし、中卒認定試験の合格を以って認めている場合は除く。 ※認めているは○印、認めていないは×印のいずれかで記入し、認めていない場合はその理由を備考に記入。検討中あるいは未決定の場合は△を記入し、備考に明記	×	<p>志願資格は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校(義務教育学校及び特別支援学校中学部を含む。)を卒業した者又は卒業見込みの者</li> <li>・中等教育学校の前期課程を修了した者又は修了見込みの者</li> <li>・就学義務猶予免除者等で中学校卒業程度認定試験に全科目合格した者</li> <li>・外国において学校教育における9年の課程を修了した者又は修了見込みの者</li> <li>・青年学校本科第1学年以上を修了した者など、文部科学大臣の指定した者</li> <li>・文部科学大臣が中学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は修了見込みの者</li> <li>・その他、当該高等学校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者及び認定を受けようとする者等</li> </ul>
2-2. 2-1で認めている場合 ※①～④からいずれかを選択 ①外国学校中等部の卒業生には、そのまま他の生徒と同様に高校入学選抜の受験(受検)を認めている(外国学校の指定その他の条件を付している場合はその条件を記載) ②学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認を、中卒認定試験・外国人特別入試等とは別途、高校入試に先立って行っている。 ③上記②を実施しておらず、外国人特別入試等を実施し、この合格をもって学校教育法施行規則第95条第5項に定める「中学校を卒業したものと同等以上の学力」があるかどうかの確認としている。 ④その他(方法を備考欄に記入)		
3.上記のⅠⅡ特別措置と入学枠での滞日年数制限について、日本国内にある外国学校の在籍期間は、日本での在在期間に含むか否か ※日本での滞在期間に含むは「含む」、滞在期間に含めないは「含めない」のいずれかで記入	含む	
4.外国学校の中等部の卒業生について、2022年度入試において受験(受検)希望があったか ※あった場合「有」を記入、備考にその人数を記入。なかった場合は「無」を記入。把握していない場合は「把握せず」	把握せず	

## V 調査した人からのコメントや関係者の皆さんへお知らせ

※各地域を担当されている皆さんだから知っている地域情報を、皆さんの視点からご記入いただきたいです。

「他地域から皆さんが担当する地域に引越し予定をしている中2の外国人生徒とその保護者に伝えたい情報」という想定で、いずれも公開されている情報について、ご無理のない範囲で、ご記入ください。

<p>1.日本語指導が必要な生徒の状況について、支援者の立場から、高校受検(受験)や高校進学に困難なケースや高校入試及び入学後の支援に関して課題と感じていること 高校入試や高校入学後の支援に関して、教育委員会や高校に期待すること</p>	<p>高校受検について、時間延長やルビ振り、また特別推薦、特色入試等、一般入試とは別に特別措置が存在するが、募集枠については別枠があるのではなく、全定員の内数として入学が許可(合格)されることになる。他県のような特別枠の設定は、総数が少ない(という認識)ことにより、設定されていない。 別枠での定員が設定されることが望まれる。 また、特別入試の実施枠がすべての県立高校に広がることにより、各地に散在する進学希望者にとっての便宜が与えられるものと考えられる。</p>
<p>2.日本語指導が必要な生徒を受け入れている私立高校の情報や課題など</p>	<p>私立高校については特別な入試(特色入試、推薦入試、専願制度など)を実施している学校が有り、そうした学校の特色入試を利用する外国籍生徒、帰国生徒が多くいるようです。</p>
<p>3.外国人生徒の高校入試などについて、近くで相談できる場所 ※担当地域内の団体名やURLなどを記入ください</p>	<p>ともに生きる街ふくおかの会(この会が中心になって、必要な情報、対応してもらえる各種団体との連携、情報提供、進路相談会を実施) mail: tomoikifukuoka@gmail.com https://tomoiki-fukuoka.blogspot.com/ また、福岡市教育委員会の「子ども日本語支援サポートプロジェクト」(<a href="https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/shido/ed/nihongosapoto.html">https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/shido/ed/nihongosapoto.html</a>)でも、小中学校への就学相談の際に関連情報を得られる可能性がある。</p>
<p>4.多言語による関連情報 ※担当地域の自治体やNPOなどで公開されているものがあれば、URLなどを記入ください。</p>	<p>ともに生きる街ふくおかの会が日、英、中、各言語で案内パンフレットを作成(各年版)最新版は「外国にルーツを持つ子どものための就学・進路相談会2022」(<a href="https://tomoiki-fukuoka.blogspot.com/2022/05/2022.html">https://tomoiki-fukuoka.blogspot.com/2022/05/2022.html</a>)</p>
<p>5.その他 ※「こんな情報もあるよ!」ということ、メッセージや助言などがあれば、調査した人からの目線でぜひご記入ください。なお、そのままホームページには掲載致しません。</p>	<p>中学校該当年齢の子どもで、市内の中学校に在籍(編・入学)を希望する場合には、福岡市教育委員会の「子ども日本語サポートプロジェクト」(<a href="https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/shido/ed/nihongosapoto.html">https://www.city.fukuoka.lg.jp/kyoiku-iinkai/shido/ed/nihongosapoto.html</a>)により、日本語指導、進路指導等の相談ができます。</p>